



環境省同時発表

令和5年6月8日
水管理・国土保全局
河川環境課

全国水生生物調査に参加しよう！

国土交通省と環境省では、川の生きものを指標として河川の水質を総合的に評価するため、地域の皆様のご協力をいただいて『全国水生生物調査』を実施しています。

令和5年度も、夏休み期間を中心に調査を実施しますので、是非ご参加下さい。また、令和4年度の結果をとりまとめましたので、お知らせします。

開催日や場所等の詳細については各地方整備局等又は各都道府県の環境部局までお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先)

- ・各地方整備局等の窓口（一級河川直轄管理区間に関するもの）
http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/toiawase.html
- ・各都道府県の環境部局（上記以外）
https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/etsuran/list_pref.html

【全国水生生物調査とは】

(1)調査概要

サワガニ、カワゲラ類等の水生生物が生息しているかどうかで水質を判定
子どもたちにもわかりやすく、特別な機材を用いないため、誰でも簡単に参加可能
身近な自然環境に接することで、身近な環境問題への関心を高める良い機会
昭和59年度から国土交通省・環境省が実施

(2)調査方法

河川に生息する水生生物のうち、[1]全国各地に広く分布し、[2]分類が容易で、[3]水質に係る指標性が高い、29種の指標生物を調査
河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ(きれいな水)、Ⅱ(ややきれいな水)、Ⅲ(きたない水)、Ⅳ(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定

川の生きものを調べよう - 水生生物による水質判定 - [調査テキスト]

https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/suisituhantei/text.pdf

(3)調査期間

7～8月を中心に実施



【令和4年度 調査結果概要】(詳細は別添をご覧ください。)

○参加者数・参加団体・調査地点数

令和4年度の参加者は34,745人(令和元年度53,269人)でした。

	参加者数	参加団体数	調査地点数
一級河川 1	11,091人	251団体	337地点
その他の河川 2	23,654人	749団体	1,004地点
合計	34,745人	1,000団体	1,341地点

1：一級河川大臣管理区間 2：一級河川都道府県管理区間及び二級河川等(1以外)

○水質判定結果

令和4年度は、全調査地点の88%の地点で、(きれいな水)又は(ややきれいな水)と判定され、令和元年度(87%)より1ポイント高くなりました。

	一級河川	その他の河川	全調査地点
I きれいな水	70%	64%	65%
II ややきれいな水	25%	22%	23%
III きたない水	3%	5%	5%
IV とてもきたない水	1%	4%	3%
判定不能	1%	5%	4%

四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

判定不能：指標生物が見つからなかった場合等

令和2,3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国一律の調査は実施していません。

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課	
課長補佐	阿河 一穂(内線 35441)
係長	寺石 杏映(内線 35482)
TEL 03-5253-8111(代表) 03-5253-8447(直通)	
環境省 水・大気環境局 水環境課	
課長	大井 通博
係長	森 美穂子
TEL 03-3581-3351(代表) 03-5521-8316(直通)	

令和4年度全国水生生物調査結果

1. 参加人数及び参加団体数

令和4年度の参加人数は34,745人であった。
 うち、一級河川※1は11,091人であり、その他の河川※2は23,654人であった。また、参加団体数は1,000団体で、うち一級河川は251団体であった。
 参加団体別の参加人数は小学校での参加が最も多く、次いで各種団体、中学校の順番であった。
 都道府県別の参加者数では岐阜県が最も多く、次いで岩手県、北海道の順番であった。

参加者数の多い都道府県

順位	都道府県名	参加人数	うち一級河川
1	岐阜	3,956	133
2	岩手	3,847	64
3	北海道	2,583	2,583
4	福島	2,457	416
5	愛知	1,671	11

※1一級河川大臣管理区間（以下「一級河川」という）

※2一級河川都道府県管理区間及び二級河川等※1以外の河川（以下「その他の河川」という）

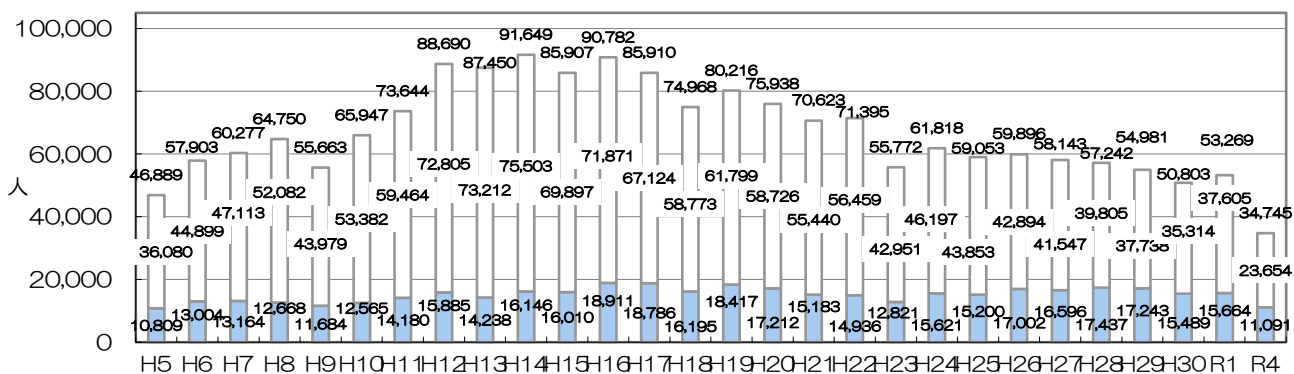


図-1 参加人数の推移

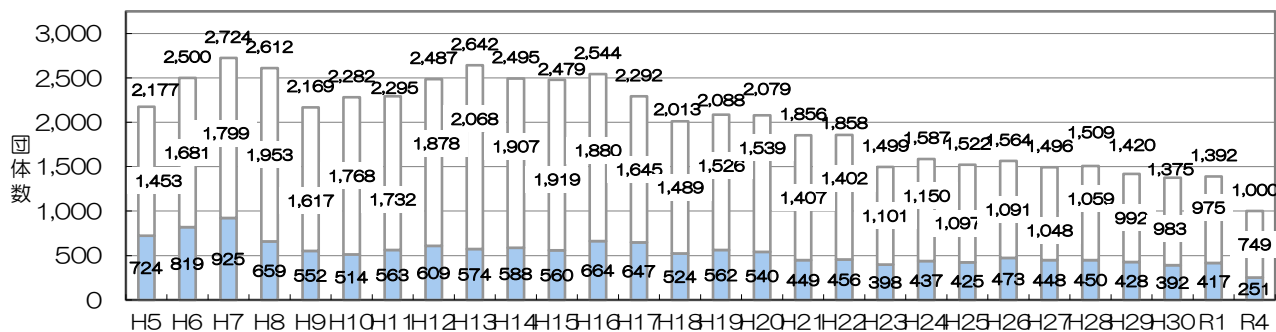
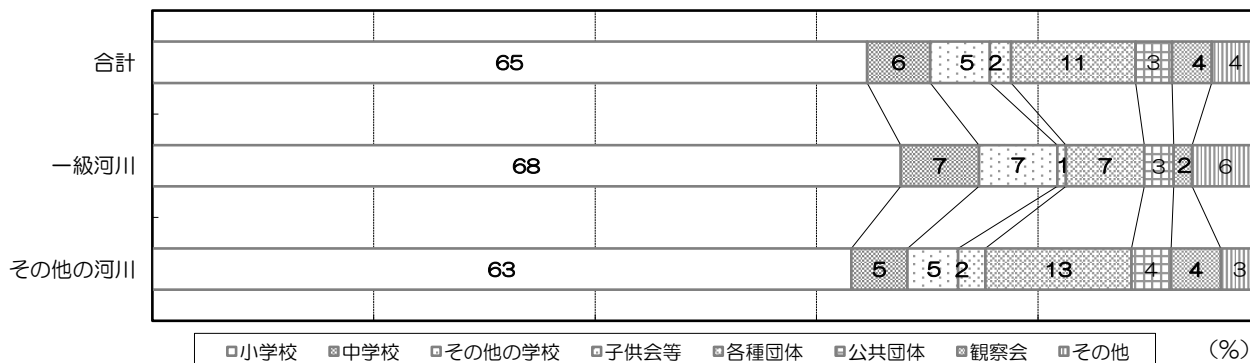


図-2 参加団体数の推移



※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

図-3 参加人数の団体種類別構成比

2. 調査地点数

調査地点数は1,341地点であった。

内訳は、一級河川は337地点、その他の河川は1,004地点であった。

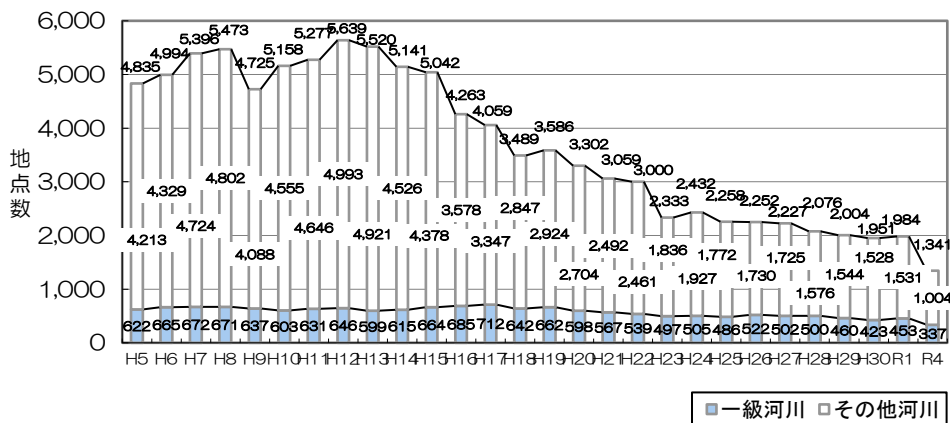
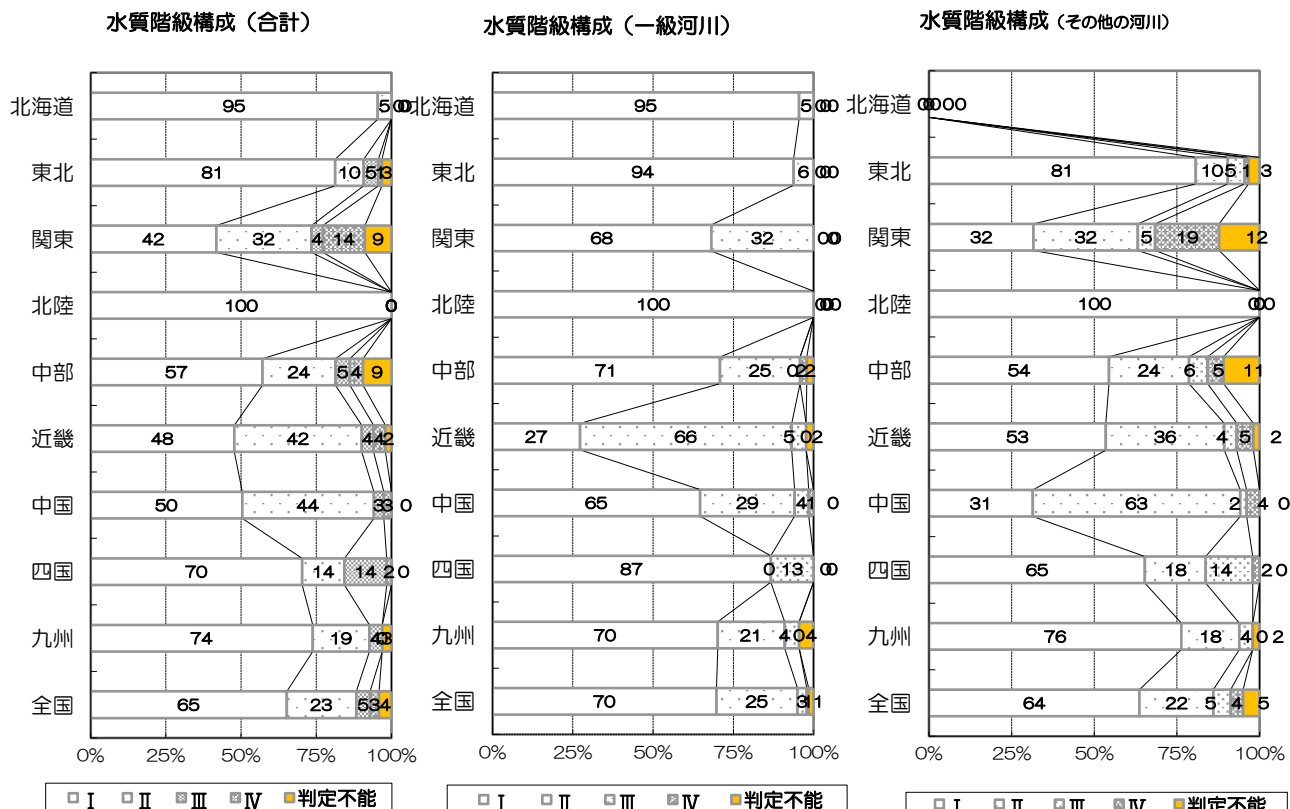


図-4 調査地点数の推移

3. 地域別水質階級構成（地域別の水質の状況）

本調査は、調査地点を参加者が任意に選定するため、我が国の河川の状況を正確に代表したものではない。しかし、多数の地点で調査されているため、全国の水質の状況を概括的に知ることができると考えられる。

令和4年度は、全国で水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が65%、Ⅱ（ややきれいな水）が23%、Ⅲ（きたない水）が5%、Ⅳ（とてもきたない水）が3%であった。



※判定不能の数値ラベルは図中に表示していない。
四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

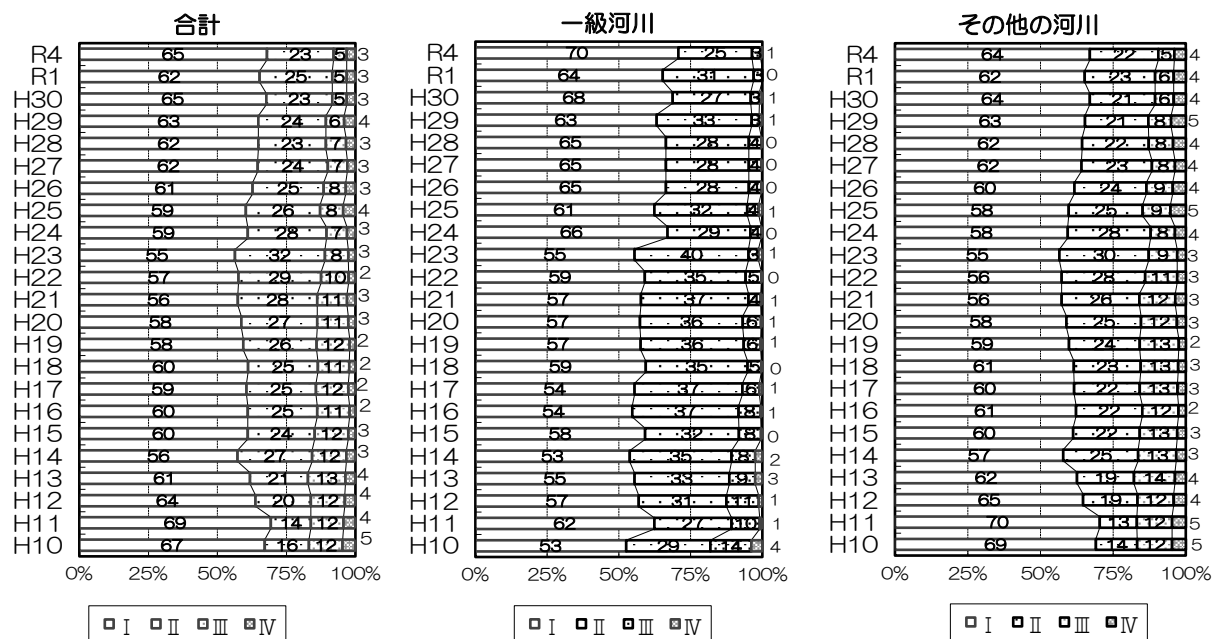
図-5 地域別水質階級構成比

4. 水質階級構成比の年次推移

全国の全調査地点の水質階級構成比を図6に示した。

I（きれいな水）又はII（ややきれいな水）と判定された地点の合計の割合は平成10年度以降、増加傾向となっている。本年度、I（きれいな水）又はII（ややきれいな水）と判定された地点の合計の割合は令和元年度より1ポイント高い88%であった。

なお、年次ごとの調査地点については相違しており、必ずしも同地点を比較したものではない。

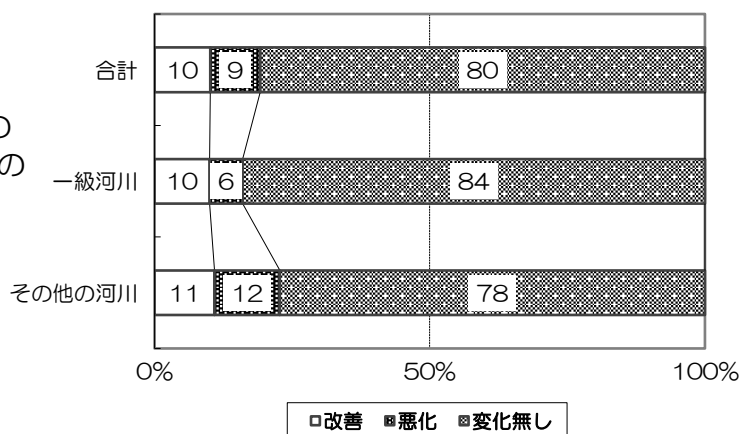


※1 判定不能地点の扱い及び四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。
 ※2 平成12年度から調査手法を変更しているため、平成12年度と平成11年度以前の厳密な比較はできない。
 ※3 令和2、3年度は 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国一律の調査は実施していない。

図-6 水質階級構成比の年次推移

5. 令和元年度との比較

令和元年度と同じ地点で調査された560地点について比較すると、10%の地点が改善、9%の地点が悪化、80%の地点が同じ水質階級であった。



※1 四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。
 ※2 令和2、3年度は 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国一律の調査は実施していない。

図-7 同一調査地点での令和元年度との比較

全国水生生物調査の概要

【参考1】

川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

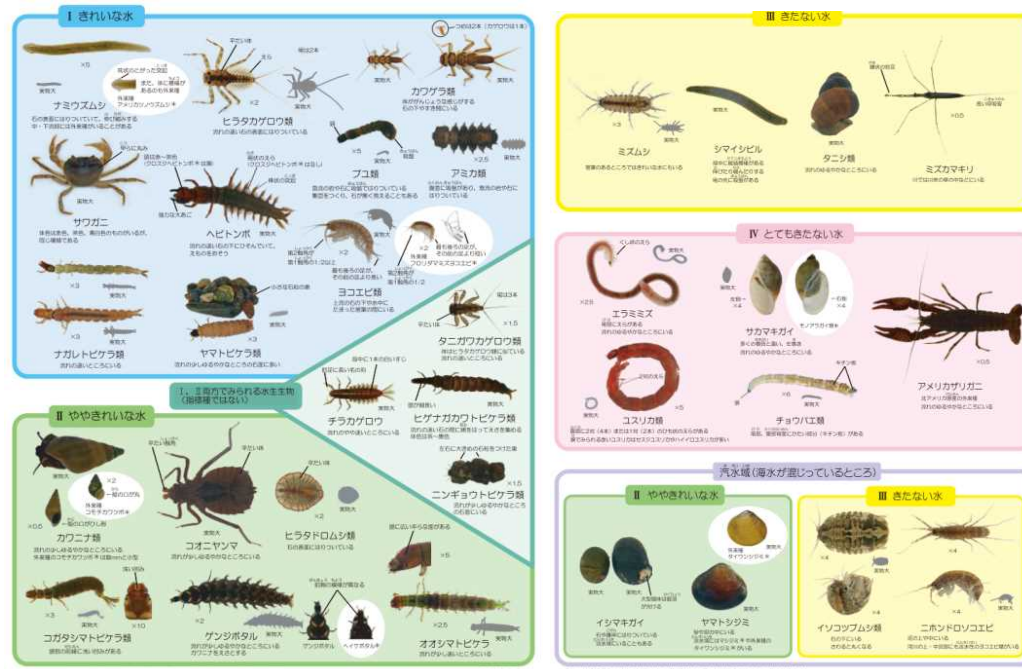
調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、全国各地に広く分布し、分類が容易で、水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、(きれいな水)、(ややきれいな水)、(きたない水)、(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。



水質階級と指標生物



きれいな水 () の指標生物		ややきれいな水 () の指標生物	
ナミズムシ	サワガニ	カワナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	フユ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
きたない水 () の指標生物		とてもきたない水 () の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
ニホンドロソコエビ	イソコツブムシ類	チョウバエ類	
両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) は海水の少し混ざっている汽水域の生物

令和4年度 全国水生生物調査(一級河川)の状況

【参考2】

令和4年度一級河川の全国水生生物調査では、夏休み期間を中心に、小中学校や市民団体等251団体、11,091人の多数の参加を頂き、337箇所での調査地点数となりました。参加者数の多い都道府県は、北海道、島根県、兵庫県等でした。



- 水質階級
- I (きれいな水)
 - II (ややきれいな水)
 - III (きたない水)
 - IV (とてもきたない水)
 - 判定不能

